



っていない」との難癖をつけられた。確かに5万ルピアを払ったはずだと反論したが、運転手が脅すような態度をとったため、無用な争いを避けるべく追加で5万ルピア支払った。

上記被害者の友人も同様に21時頃ブロックMからエクスプレス・タクシーに乗車し、自宅で降車後、5万ルピアを支払ったが、やはり2千ルピアしかもらっていないとの難癖をつけられた。しかし、同人は自宅アパートのロビーにタクシーが停車したため、アパートの警備員を呼んだところ、タクシー運転手は難癖をつけるのをやめたので、被害はなかった。

同様の事態に遭遇した場合は、警備員がいるロビーに停車するよう再指示する、料金支払いの際は手渡す額を口頭で伝える、チップ込みの金額である旨を伝える、領収書を入手するなどして、被害に遭わないよう注意していただきたい。また比較的安全とされるブルーバード・タクシーやシルバーバード・タクシーではこのような事案は聞かれないので、これらのタクシー会社を利用するか、もしくは運転手情報が明らかとなるスマホのアプリを利用してタクシーを呼ぶなど対応いただきたい。

(3) 領事事務関連では、お知らせメールで通知したとおり、訪日渡航のためのビザ申請者急増への対応のため、日本人向けの領事業務窓口を大使館2階の広報文化センターに臨時移設した。また4月1日から旅券・領事手数料が改定される。これは為替相場の変動によるもの。3月31日申請分までは旧料金を適用し、4月1日以降の申請は新料金が適用される。手数料改定については追って連絡させていただく。

## 5 最近の医療事情等

(1) 年明けからH5N1型鳥インフルエンザによる事例が多く発生している。

(2) 従業員や使用人に活動性結核が発見される事案が複数発生。各企業においても職員検診を推奨されたい。

## 6 質疑応答、各社(団体)からの報告等

(1) タクシー運転手によるデモ

(質問)

先ほど又平領事部長からスマホのアプリでタクシーを呼ぶとの話があったが、先週バンドンにて、従来の乗り合いバス運転手が、新規参入してきたオンライン予約のタクシー会社を相手に大規模なデモを行ったとの報道があった。同様のデモはジャカルタでも予定されているのか。

(回答)

現時点ではそのような情報には接していないが、今後とも注視していきたい。

(2) 就労許可等

(報告)

外国人雇用計画書(RPTKA)の更新時期のため、労働局の査察が入った。インタビューを行いたいと要望があったので、数名の日本人及び現地社員が対応。1名の日本人役員が先方の質問に対し、「勤務地はジャカルタ市内。客に呼ばれば地方にも行く」旨答えたところ、後日突然回答した役員の就労許可を取り消すとの連絡があった。正式な通知は13日に届く予定と言われていたが、まだ受け取っていない。先方は、全ての訪問先を書けとの言い分だが、言いがかりをつけられている印象。

(報告)

就労許可に関する勤務地の記載については社内でも話題となっている。新規取引先を全て含めることは不可能であり、その度に就労許可を再取得することも考えにくい。先方の取引先が来訪を嫌がる事態が生じることを懸念している。

(回答)

就労許可の問題は、外国人雇用計画書の更新とは別のものと認識。就労許可取得のための資料には、基本的には指定された拠点地のみを書けばよく、その他の地方に出張する際は国内移動許可証を警察に申請することになる。しかし、アチェ、パプア、アンボン等を訪問する際は必須であるが、バリやスラバヤ等へのお出張は取得しないのが慣習である。指定されていない地で恒常的に就労するのは重い罪であるが、出張先や訪問先を書いていないという指摘は突き返してよい。

(質問)

ジャカルタ特別州労働局の査察の書類に担当官の名前はあるか。あるのならば、労働省外国人担当部署宛、ジャカルタ特別州労働局長と大使館をコピー送付先として、IMTAの勤務地とは具体的にどのようなロケーションを記載すべきか照会するレターを發出し、書面で残しておいた方がよいと思料。またその際、その根拠となる条文は何か確認すべき。

(回答)

13日までに接到する予定だった通知書がきていないのでまだ何もしていないが、通知があり次第、ご指摘の対応をとりたい。

(3) 犯罪関連

(報告)

社員が韓国レストランにて食事中、複数名で食事をしていた最中に、椅子の後ろにかけていたリュックサックを盗まれた。中にはパソコンが入っていた。防犯カメラの映像より、犯人(1人)が座席後ろの通路を通り過ぎる際に盗んだものと思われる。対面にも人は座っていたが、社員本人の陰に隠れて気づかなかった。

(報告)

7日15時頃、サリナ・デパートのコーヒーショップ内で、置き引きの被害が発生。婦人3人がコーヒーを飲みながら作業に熱中していたところ、背中と椅子の背もたれの間においていた鞆を盗まれた。現金200万ルピア、キャッシュカード、自宅の鍵等が盗まれ、警察に被害届を提出済み。監視カメラの映像を確認した結果、4人組の男性が犯人と思われる。

(4) 医療関係

(報告)

バンドンにある関連会社の社員が当初はデング熱と診断されていたが、その後の検査で麻疹のようだと言われた。

(5) 日本人学校関連

(報告: J J S)

(1) 学校の正門付近は、これまで近隣住民との融和を考慮し、金網フェンスを設置していたが、安全対策のため、コンクリートの外壁に変更した。子供優先で安全環境を整えていきたい(又平領事部長より、邦人子女が学ぶ在外教育施設の安全対策については、現下のテロ情勢を踏まえて、日本政府としても最重要視して取り組んでいる旨発言)。

(2) 3月15日に卒業式を行う。小学部・中学部計200人が卒業する。終業式は16日、新年度の入学式は4月17日に予定している。安全に春休みを過ごせるよう、ご協力願いたい。

(3) 4月7日に新校長が着任予定。

次回の邦人安全対策連絡協議会は4月11日(火)午前11時から